

SUGISEKI PRESENTS

みらい通信

(株)スギセキは、建設会社の環境への取り組みを応援します。

Talk Room

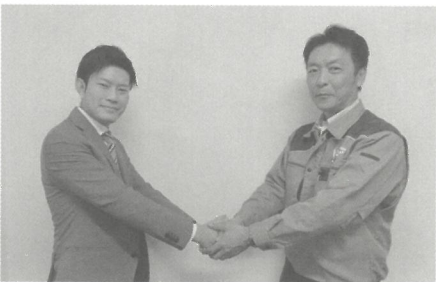
007号室



インタビューアー
(株)スギセキ 愛宕航希

今回は初めて舗装関係に精通している企業様へのインタビューでした。特に低炭素アスファルト混合物の話は大変興味深く、昨今では企業活動でのCO₂排出量をscope3まで算出することが求められますが、まさしくこの低炭素アスファルト混合物はCO₂排出量を削減できるscope3素材として活用することが可能であり、広く普及すべき技術であると感じました。

また、企業全体としての取り組みは頭打ち感があるため、これからは現場の一人一人が関心を持ち、細かいところまで環境配慮の目を向けることが大事であるという話は全業界に当てはまり、非常に感銘を受けた話でした。



CO₂削減には意識と小さな積み重ねが必要

(株)NIPPO静岡統括事業所 所長 新行内 正臣 氏

愛宕 静岡統括事業所の営業範囲と特徴をお願いします。

新行内 営業範囲は静岡県全域で、2カ所の出張所と3カ所の工場、グループ工事会社3社があります。官庁工事では国交省を中心にインフラ整備に取り組んでいます。民間工事では自動車メーカーを中心にテストコースやサーキットなど特殊技術が必要な施工に携わっています。

愛宕 現場の安全対策と働きやすい職場

環境づくりについて教えてください。

新行内 当社は過去の災害を教訓に「安全作業5つの誓い」を順守することを方針とし、作業員と機械の動線分離や車両誘導図の確認などを徹底しています。職場環境についてはコミュニケーションを大切にし、楽しく仕事ができる雰囲気をつくるよう指導しています。また、ハラスメント教育を定期的に行っている他、事業所ごとにストレスチェックも行うなど、より働きやすい職場環境づくりを進めています。

愛宕 安全対策と並び、現場でも環境に対する配慮が求められる時代になっていますが。

新行内 環境への対応も現場の重要な柱のひとつです。当社では2022年12月までに全国279事業所でCO₂フリー電力への切り替えが完了し、環境負荷の軽減に努めています。アスファルト合材工場ではECOフォームドという低炭素アスファルト混合物の営業を展開しています。製造温度を30℃下げることによって、1トンあたり最大で3%程度のCO₂を削減できます。お客さまはScope3の排



出量削減としてカウントできるため、高く評価してくれています。

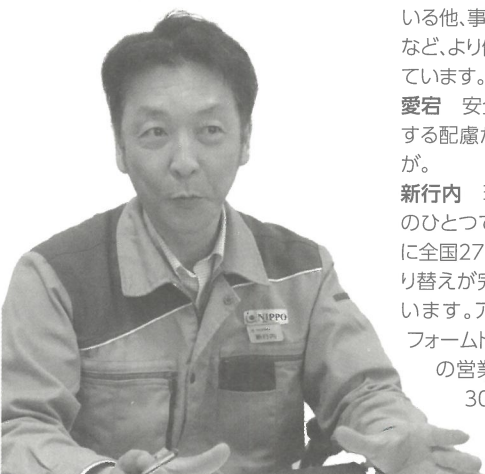
愛宕 弊社が提供するGTL燃料もお使いいただいていますね。

新行内 国土交通省発注の「令和5年度1号清水立体飯田地区舗装設備工事」を受注し、CO₂削減の取組の一環として一部導入しました。使用感は軽油と遜色なく、コスト面も問題ありませんでした。愛宕 現場や社内の反応はいかがだったでしょうか。

新行内 「良い取り組みをしている」という気持ちで社員に広がり、環境に配慮する意識が向上しました。社内研修などでGTL燃料を紹介し、建築を含め、さらなる使用拡大を図っていくと考えています。環境に優しい製品があるなら、それを積極的に使っていくことが社会的責任だと思います。

愛宕 最後に、今後の環境に対する姿勢についてお聞かせください。

新行内 ある程度までCO₂削減を進めてきましたが、ここからは一人一人の意識と小さな積み重ねが必要です。コストだけでは測れないCO₂削減の意義を理解することが大切です。省力化や時短など身近なところでも大きく寄与できることを指導していきたいですね。



Talk Room

008号室



インタビューアー
(株)スギセキ 愛宕航希

AIやIT導入などのDX化、若者の価値観の変化などここ3,4年で目まぐるしく変化している時代の流れに試行錯誤しながら対応を続けているという内容が印象に残りました。

社長自身がSDGsに関心・理解が深いため、環境対策・NO残業・産休育休の取得・福利厚生など従業員が働きやすい環境作りを時代の変化に合わせて柔軟に取り入れているのだと感じました。

また、GTL燃料の導入に関して、何よりも第一に掘削した穴の中で作業する従業員の健康面を考慮して決めたという話からは従業員を守る姿勢に頼もしさを感じ、販売している側の私も大変うれしく感じる話でした。



黒煙・排ガス削減し従業員の健康配慮

栄(株) 代表取締役 望月 栄児 氏

愛宕 貴社の事業内容を教えてください。

望月 主に、公共工事における配水管の施工を中心に事業を展開しています。静岡市を中心とした地域密着型で、最近は藤枝市や焼津市など近隣の市町への対応も増えています。民間ではハウスメーカーの工事を請け負っています。

愛宕 働きやすい職場づくりに注力されていますね。

望月 「ノー残業」の推進を重視しています。若い世代はワークライフバランスを大切にしており、残業を好まない傾向にあります。このため、作業の効率化を常に考え、時間内での作業完了を促しています。産休や育休に加え、通院が必要な社員には勤務時間を選べるフレキシブルワークを導入しています。また、DX化による業務効率のアップも肝要だと考えています。

愛宕 若手社員の確保や育成についてはどうでしょうか。

望月 ありがたいことに、若手社員も少なからずいます。ただし、長く働くより「いろいろ経験したい」という志向の若者が多いですね。DX関連と同様に、この数年間で若者の価値観も大きく変わってきており、社員教育を含め柔軟に対応していかなければなりま



せん。

愛宕 企業の価値観としては、環境に対する姿勢も変化しているのではないのでしょうか。

望月 弊社は、エコアクション21の認証を受けており、またSDGsの取り組みも実施しています。環境問題を知れば知るほど、自分たちの仕事は環境と深く関わっていることに気づき、LED照明や排ガスの少ない発電機の導入、小型機械の活用など、現場の制約を踏まえつつできることを実践しています。GTL燃料の導入もその一つです。

愛宕 GTL燃料導入の効果はいかがですか。

望月 導入に当たって最も重視したのは「黒煙の削減」です。現場では掘削した穴の中で手作業をしなければならぬ場合もあり、排ガスが作業員の健康に直結します。GTL燃料に切り替えてからは、排ガスによる苦しさや軽減された現場から好評で

す。また、周辺への配慮も必要な住宅街での工事では、燃焼時に無色無臭で煤(すす)の発生を抑制するGTL燃料は非常に有用です。

愛宕 今後の環境対応の展望をお聞かせください。

望月 自然エネルギーを導入し、現場に応じた環境配慮を進めたいと考えています。ただし、小規模工事では、大型設備の導入が現実的でないケースも多く、試行錯誤しながらの対応となります。ライフラインの担い手として、環境との共生は責務だと考えています。



NETIS 登録技術 GTL燃料

燃焼時 CO₂ 8.5%削減

☎ 0120-217-517
株式会社 スギセキ

